

ICU での電撃性紫斑病の調査について

集中治療室に緊急入院された患者さんの中には電撃性紫斑病という病気を合併される方が稀にいらっしゃいます。電撃性紫斑病は何らかの重症な感染症をきっかけとして手足の指先などから黒く壊死してくる病気で、状況によっては迅速な手術が必要になります。ところが、電撃性紫斑病自体が稀であり、どの程度の症状にどういった外科的治療を行うのが最も適切なのかは未だに議論が続いており、またどのような状況や背景の方で発症しやすいのかも完全には明らかになっていません。症状や状況に応じて適切な治療を行うために、電撃性紫斑病についてより詳しく知ることが大切になります。

そのため、2008年1月から2017年6月に当センターの集中治療室に入院された方の中で、電撃性紫斑病を発症された患者さんについて経過や検査結果について調査を行っています。

この調査について詳しくお知りになりたい方はいつでもお申し出ください。また、調査の対象となる方ご自身に関する情報を、調査に利用されることを拒否される場合も遠慮なくお申し出ください。一切の情報を調査に使用しないように致します。調査結果は学会や各術雑誌で公表しますが、個人が特定されるような氏名、生年月日といった情報に関しては、一切公表致しません。

対象期間：2008年1月から2017年6月

対象患者：当センターの集中治療室に入院され電撃性紫斑病を発症した方

個人情報：本研究では個人が特定できる情報を扱うことはありません。

利用させて頂く情報：当院入院時から退院までの診療情報

研究参加の取りやめ：本研究でのデータ利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ窓口

日本赤十字社和歌山医療センター倫理委員会事務局（総務課）

TEL：073-422-4171（内線 5310・5311）

FAX：073-426-1168

日本赤十字社和歌山医療センター
研究責任者 外科部 医師 東出 靖弘